

「びわ湖大花火大会」 に関するアンケート 調査結果報告書

令和6年2月

大津市産業観光部観光振興課

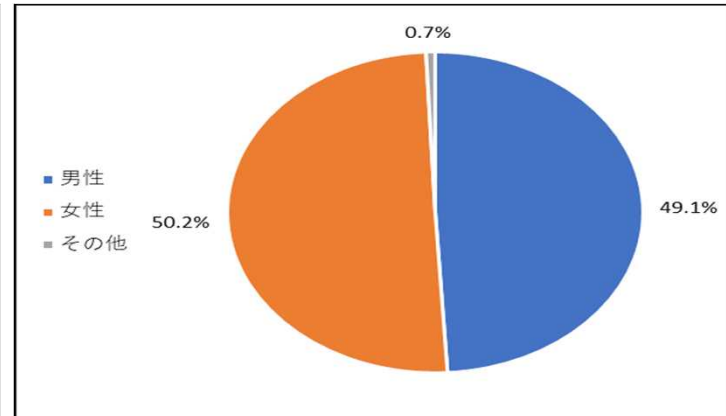
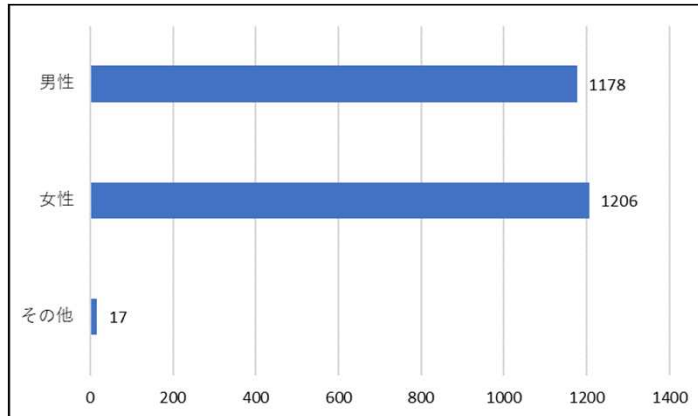
調査概要

- 1.調査の目的
- ・花火大会の開催は、観光客誘致などの経済的な側面がある一方で、シビックプライドを醸成する側面もあると考えますが、これまでびわ湖大花火大会については市民の皆様から幅広くご意見を頂戴する機会がなかったことから、アンケート調査を実施したものです。
 - ・アンケートの結果については、あくまでも今後の取組の参考とするものであり、花火大会のあり方や今後の方向性を判断するためのものではありません。
 - ・それらの判断は、びわ湖大花火大会実行委員会が行うこととなります。
- 2.調査概要
- (1)調査期間 令和5年12月6日(水)～12月22日(金)
 - (2)調査方法 大津市電子申請サービスでアンケートを回答
 - (3)回答数 2,401件

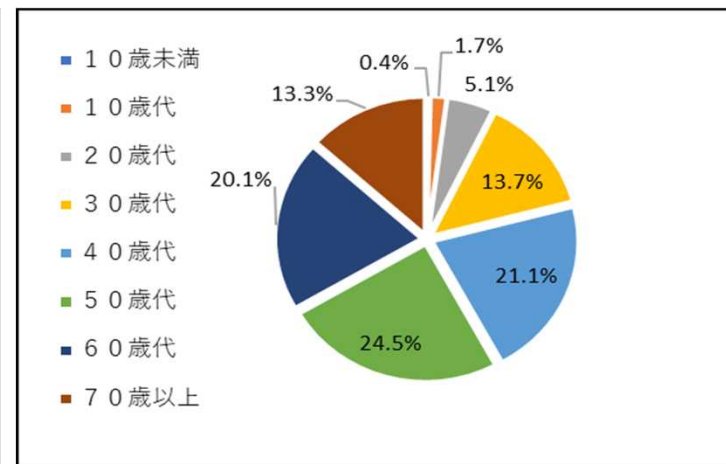
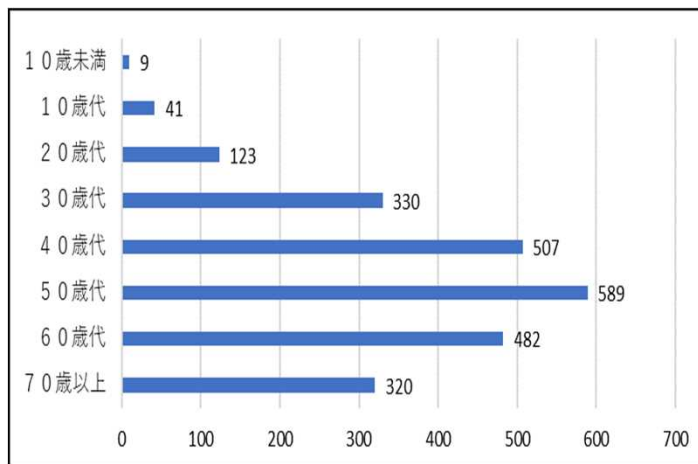
調査概要

3.調査属性

【性別】



【年代】



調査概要

3.調査属性【居住地】

北部(小松学区、木戸学区、和邇学区、小野学区)

西北部(葛川学区、伊香立学区、真野北学区、真野学区、堅田学区、仰木学区、仰木の里学区)

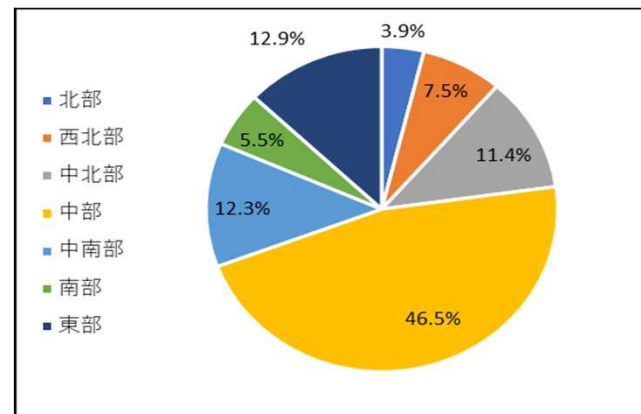
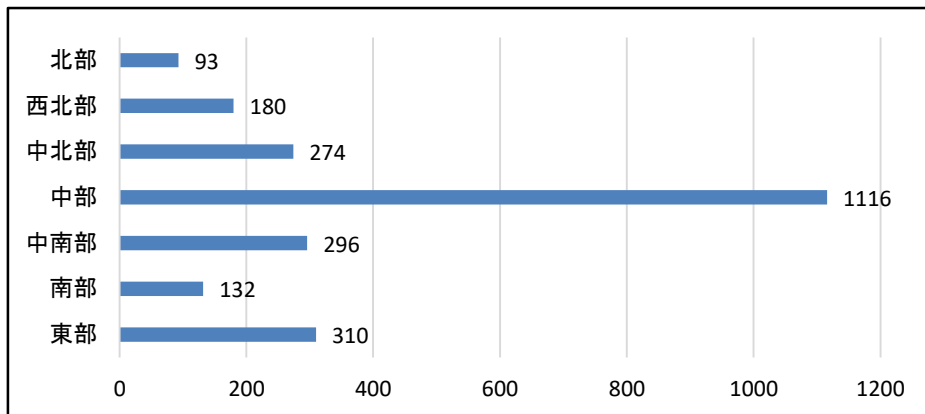
中北部(雄琴学区、日吉台学区、坂本学区、下阪本学区、唐崎学区)

中部(山中比叡平学区、滋賀学区、長等学区、中央学区、藤尾学区、逢坂学区、平野学区)

中南部(膳所学区、富士見学区、晴嵐学区)

南部(石山学区、南郷学区、田上学区、大石学区)

東部(瀬田北学区、瀬田学区、瀬田東学区、瀬田南学区、青山学区、上田上学区)

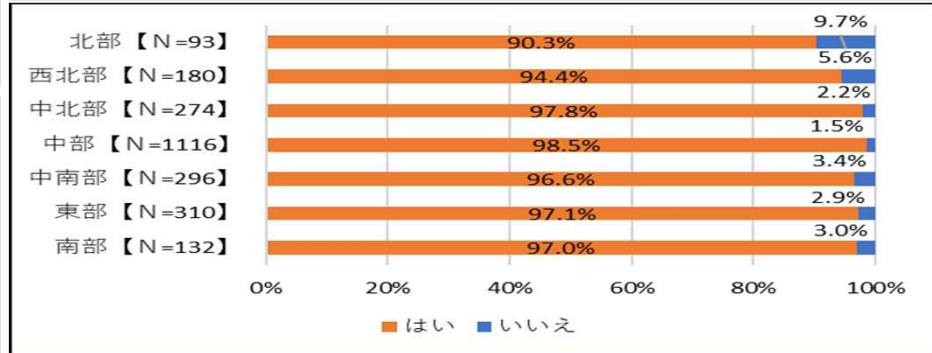
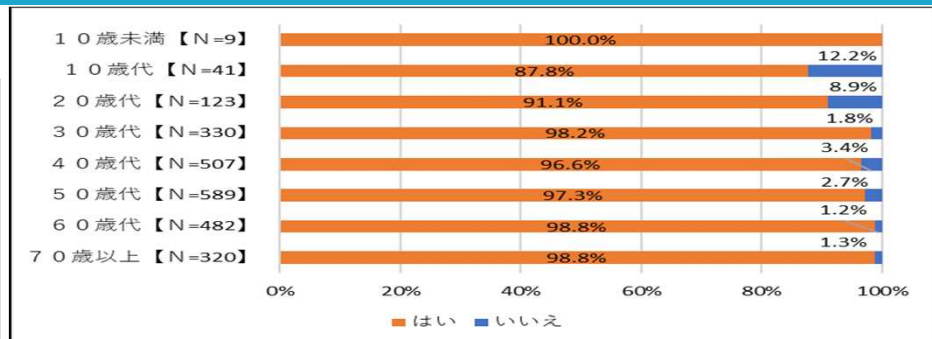
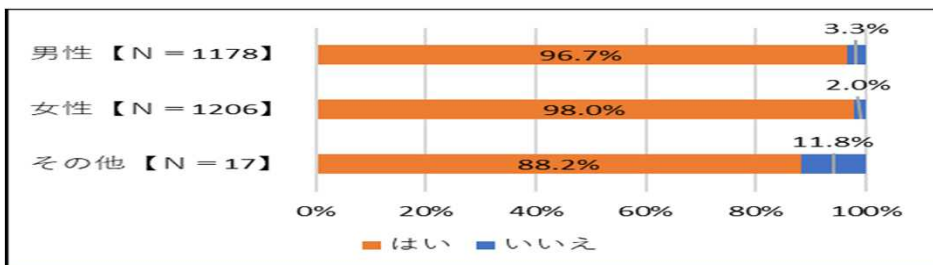
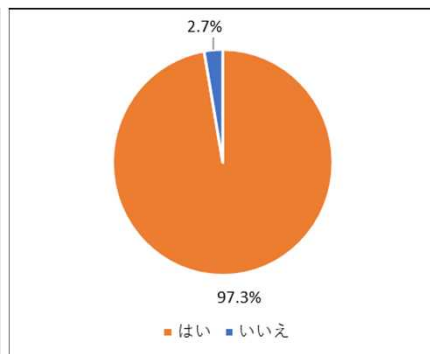
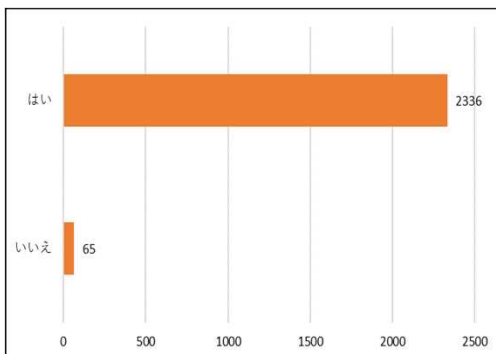


【調査属性より】

- ・男女比率に偏りはなく、また、30歳代以上の各年代から一定数の回答が得られたことから、幅広く回答を得ることができたといえる。
- ・電子申請サービスを活用したアンケートであったが、60歳代・70歳以上から全体の約33%を占める回答を得られていることから、シニア層の意見の反映も見込める。
- ・中部地域からの回答数が全体の46.5%を占めており、開催エリア及び周辺地域にお住まいの方の関心の高さが窺える。

回答結果

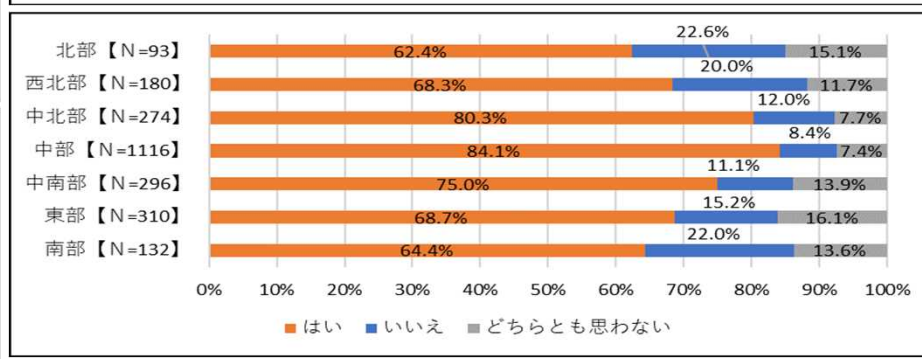
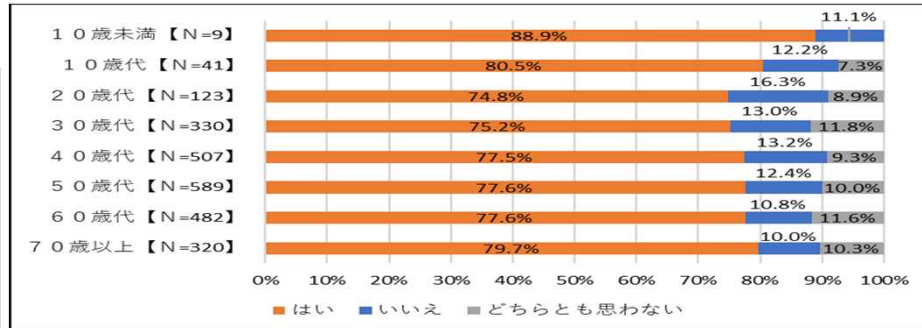
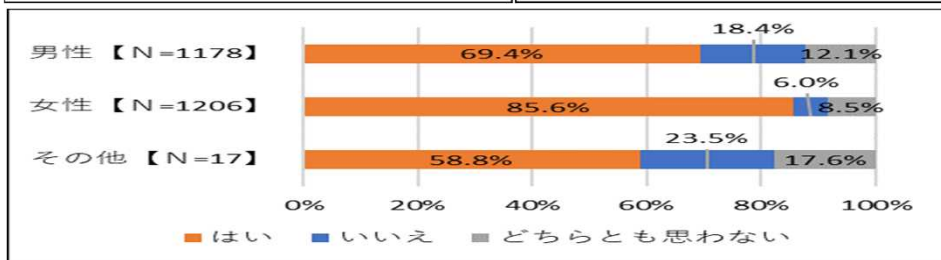
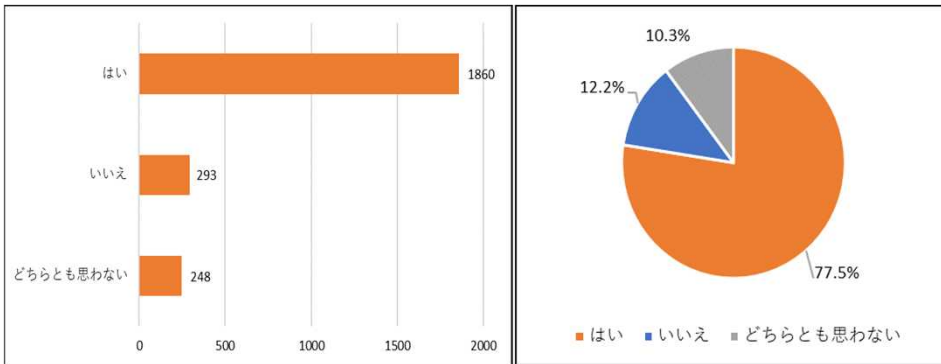
Q.4 観たことがありますか？



- ・回答数は、「はい」が2336件(97.3%)、「いいえ」が65件(2.7%)
- ・また、年齢別では10歳代を除き「はい」の回答が90%以上を占めている。
- ・以上のことから、観覧率や認知度がとても高いイベントであることが窺える。

回答結果

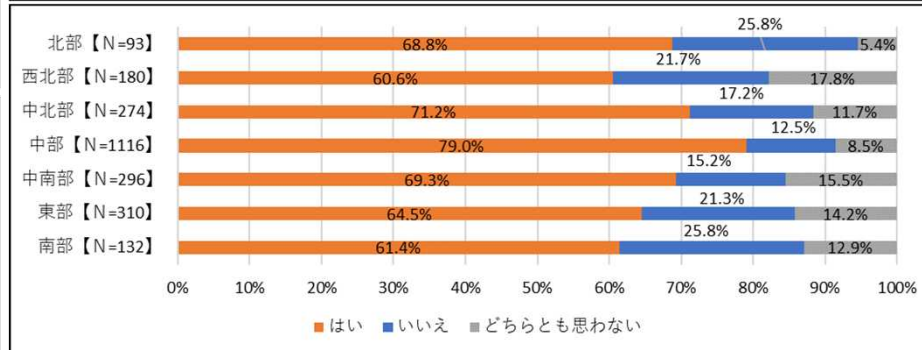
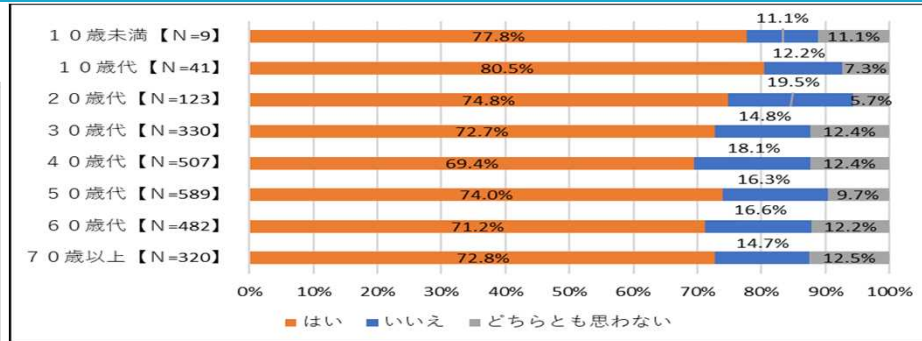
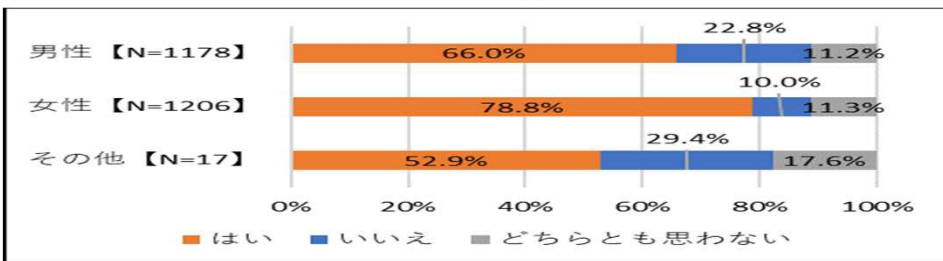
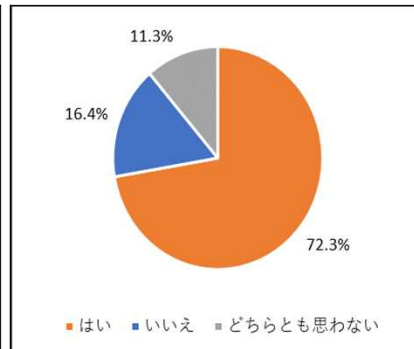
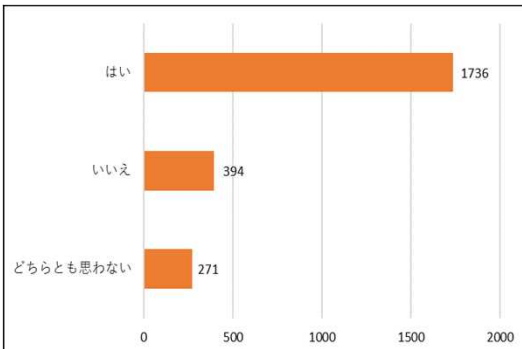
Q.5愛着や誇りを感じておられますか？



- ・回答数は、「はい」が1860件(77.5%)、「いいえ」が293件(12.2%)、「どちらとも思わない」が248件(10.3%)
- ・性別では、女性の「はい」の比率が男性を大幅に上回っている。
- ・地域別では、開催エリアである中部地域を中心に、エリアが離れるにしたがって「いいえ」の回答比率が高まっている。
- ・以上のことから、開催エリア周辺地域とそれ以外の地域にお住まいの方を比較すると、愛着や誇りを感じる度合いに差があることが窺える。

回答結果

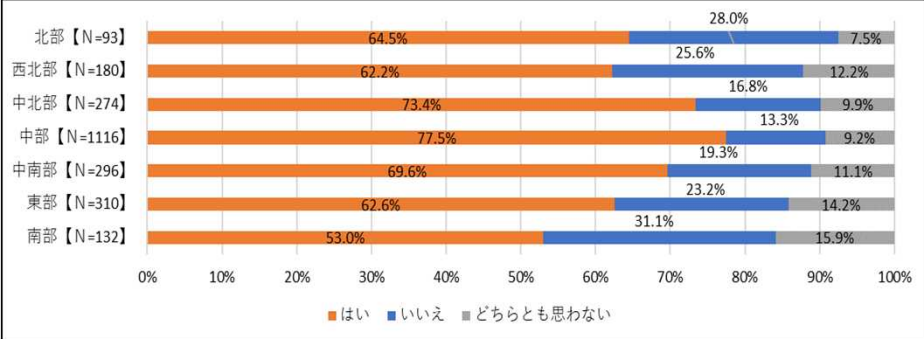
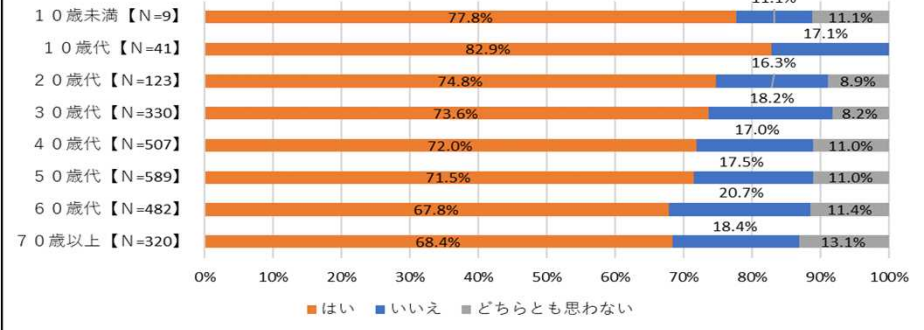
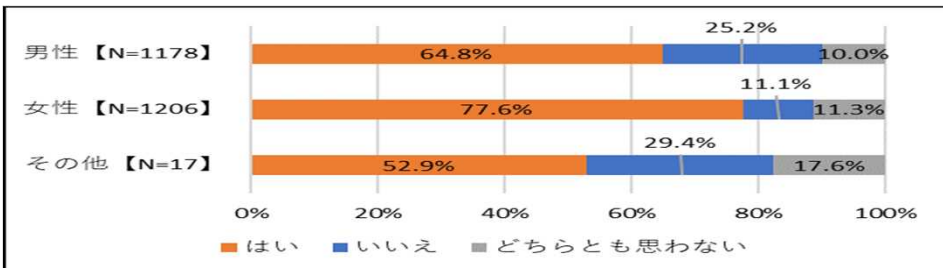
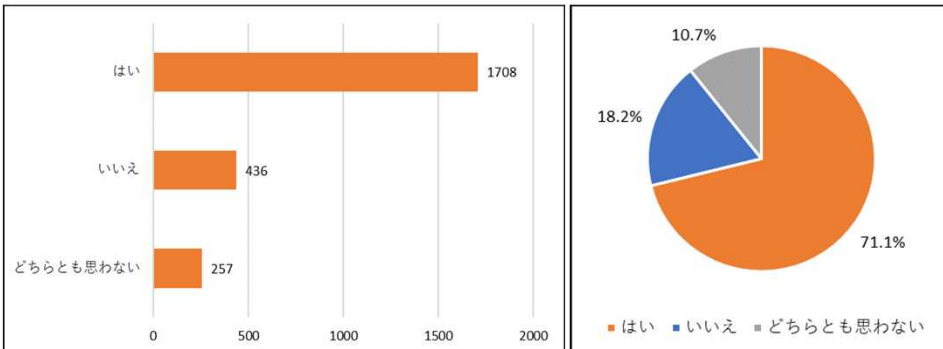
Q.6 本市観光の振興に役立っていると思えますか？



- ・回答数は、「はい」が1736件(72.3%)、「いいえ」が394件(16.4%)、「どちらとも思わない」が271件(11.3%)
- ・性別では、女性の「はい」の比率が男性を大幅に上回っている。
- ・地域別では、開催エリアである中部地域を中心に、エリアが離れるにしたがって「いいえ」の回答比率が高まっている。※北部地域を除く。
- ・以上のことから、開催エリア周辺地域とそれ以外の地域にお住まいの方を比較すると、観光振興に役立っているとの認識度合いに差があることが窺える。

回答結果

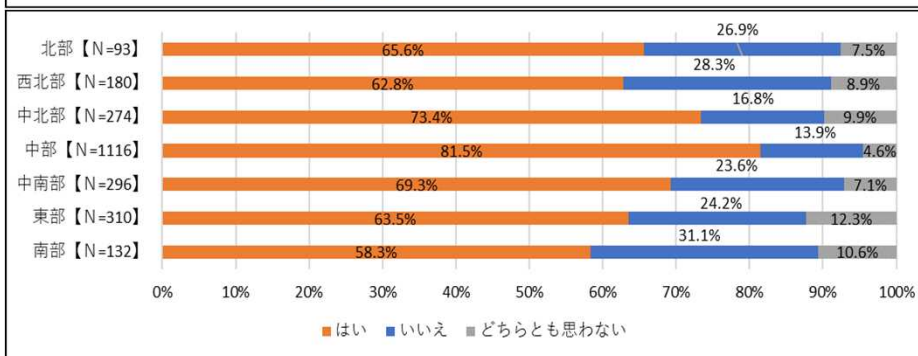
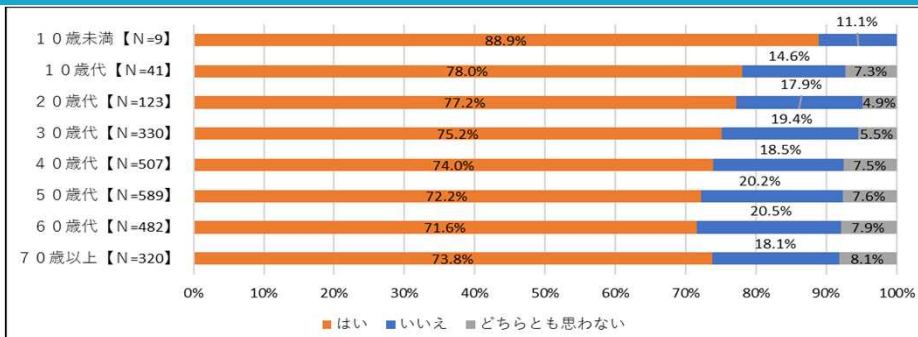
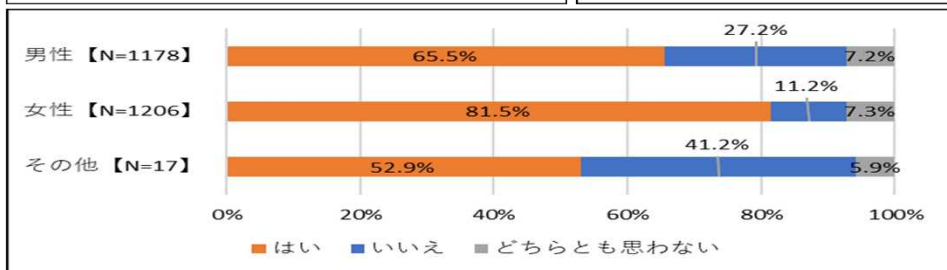
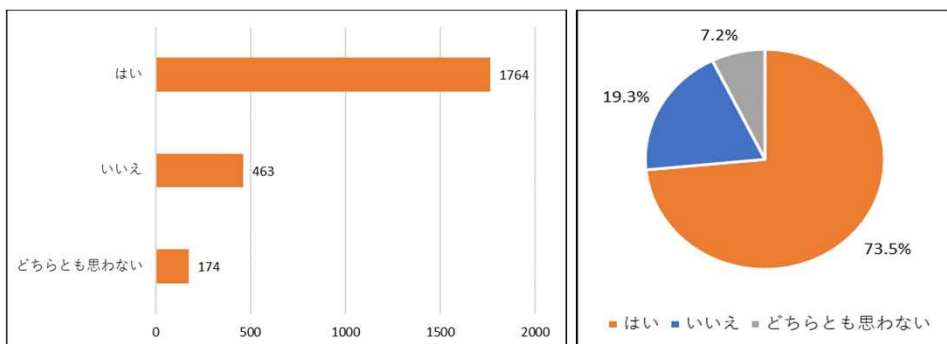
Q.7 大津のまちの魅力向上に役立っていると思えますか？



- ・回答数は、「はい」が1708件(71.1%)、「いいえ」が436件(18.2%)、「どちらとも思わない」が257件(10.7%)
- ・性別では、女性の「はい」の比率が男性を大幅に上回っている。
- ・地域別では、開催エリアである中部地域を中心に、エリアが離れるにしたがって「いいえ」の回答比率が高まっている。※北部地域を除く。
- ・以上のことから、開催エリア周辺地域とそれ以外の地域にお住まいの方を比較すると、大津のまちの魅力向上に役立っているとの認識度合いに差があることが窺える。

回答結果

Q.8 来年以降も開催を望まれますか？



- ・回答数は、「はい」が1764件(73.5%)、「いいえ」が463件(19.3%)、「どちらとも思わない」が174件(7.2%)
- ・性別では、女性の「はい」の比率が男性を大幅に上回っている。
- ・地域別では、開催エリアである中部地域を中心に、エリアが離れるにしたがって「いいえ」の回答比率が高まっている。※北部地域を除く。
- ・以上のことから、開催エリア周辺地域とそれ以外の地域にお住まいの方を比較すると、来年以降の開催についての意向に差があることが窺える。

回答結果

Q.5～Q.8の分析について

- ・いずれも「はい」の回答が70%を超えており、シビックプライドの醸成や本市の観光振興・魅力向上への寄与、継続開催について肯定的な意見が多数を占める結果となった。
- ・一方で、「いいえ」の回答比率が20%～30%弱を占めており、開催エリアから離れるほどにその比率が高まる傾向が窺えた。
- ・開催エリアを含む中部地域については、他の地域に比していずれの設問においても「はい」の比率が高く「いいえ」の比率が低い結果となった。
- ・また、いずれの設問についても、女性の「はい」の比率が男性のそれを大幅に上回る結果となった。
- ・これらのことから、シビックプライドの醸成や本市の観光振興・魅力向上への寄与、継続開催に肯定的な意見が多数を占めており、開催エリアに近いほどその比率は高く、離れるほど低くなる傾向が見られること、男性以上に女性の方が肯定的な意見をお持ちの方が多いことが特徴として挙げられるといえる。

まとめ

・設問5～8の分析結果を踏まえると、びわ湖大花火大会が市民のシビックプライドの醸成、本市の観光振興や魅力向上に貢献していると考ええる。

また、来年以降の開催希望が多数を占めることから、開催に必要な経費として計上され、運営費に充てられてきた本市からの負担金拠出を継続する必要性について、市民理解が得られる環境にあるといえる。

・一方で、花火大会に肯定的でない意見をお持ちの方が開催エリアから離れるほどに多く見られ、その数は決して少なくないことから、開催エリアから離れた地域においても観光振興や魅力向上の面で成果が得られるよう、花火大会を契機とする観光振興に取り組むことや、より多くの市民に身近に親しみ楽しんでいただけるよう取り組むこと等が必要であるといえる。

・また、こうした取組の実現につながるよう、本市が参画するびわ湖大花火大会実行委員会において必要な議論を求めていくとともに、市民への丁寧な説明に努めることとする。